

荒天時の走錨等に起因する事故の再発防止に係る
有識者検討会（第5回）議事概要

日時：平成31年3月13日（水）14:00～15:10

場所：中央合同庁舎3号館11階特別会議室

1. 議事

- (1) 報告書（案）
- (2) その他

2. 議事概要

(1) 事務局から、「報告書（案）」の説明がなされた。

- ◆ 昨年末に検討会において取りまとめた中間報告に、新たに検討した内容を追記
- ◆ 全ての海域における対策としては、
 - 検討対象海域は、海域を取り巻く環境や固有の諸事情を勘案して検討
 - ・ただし、海上空港については最優先で検討すべき
 - ・空港以外の重要施設周辺は、交通やライフライン等の断絶、代替手段が無いことによる不利益等をもたらす施設周辺を優先
 - 対応策としては、海域の状況に応じ、以下の対応策を検討する必要
 - I 監視・指導強化海域
 - II 重点指導海域
 - III 規制海域、
 - 事故防止対策の検討手法のあり方としては、
 - ・各管区本部において、各海域の海事関係者、施設管理者等とともに社会的影響を勘案しつつ検討
 - ・海上空港をはじめとする、今年検討する施設周辺海域については、今年の台風シーズン前までに、直ちに対応できる対策を最大限実施
 - ・また、海上保安庁の本庁において、各管区における検討状況等を毎年の台風シーズン前など、時期を定めて確認し、検討会の委員をはじめ関係者に広く周知するなど継続的にフォローアップ

(2) 提案された報告書（案）について、内容についての修正意見は無かった。

(3) 最後に、海上保安庁長官から、「同種の事故を二度と繰り返さないよう、報告書を踏まえ、今年の台風シーズンに向けて、各海域の海事関係者等の皆様と協議しつつ、海上保安庁全体としてしっかり対応していく。」旨の挨拶があった。